

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	5		法令の基準以上の広さを確保しております。できるだけスペースを広く取り、机の位置などを工夫しています。	今後も、適切なスペースの確保と環境整備に努めてまいります。	
	2	5		配置基準は満たしていると同時に利用児童に合わせた職員を配置しており、適切です。	今後も、適切な人員を配置・確保して運営してまいります。	
	3	4	1	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	今後も、適切な人員を配置・確保して運営してまいります。	
業務改善	4	5		朝会等を活用し、児童の支援に限らず、業務改善についても話し合いを持ってまいります。	今後も会議を継続し、さまざまな意見交換を行う場として設けてまいります。	
	5	5		毎年のアンケートを元に保護者様のご意向を把握し、職員で情報共有を行い、業務改善を行っています。	保護者様の貴重なご意見を真摯に受け止め、今後も改善に努めてまいります。	
	6	5		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。	
	7	5		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	8	5		全事業所グループ全体で研修を設けております。視聴しやすいう動画視聴で研修を行っています。	研修の機会を確保し、職員の資質向上を図っております。	
	9	7		利用開始前にアセスメントを行い課題を把握し、計画に繋げております。また定期的に個別面談を行い、利用児童の状況把握、保護者様のニーズを把握するよう努めています。	今後も児童の状況や保護者様のご意見を考慮して適切に作成してまいります。	
適切な支援の提供	10	7		全事業所で統一したアセスメントシートを使用しております。	必要に応じてアセスメントの項目は変更してまいります。	
	11	7		全職員で話し合い、より良い支援提供ができるよう努めております。	職員全体で共通認識により連携が取れるように努めています。	
	12	7		個別の療育以外にも集団の活動など、児童の状況を見ながら、職員で話し合い、療育内容を工夫しております。	今後も固定のプログラムではなく、保護者様へ聞き取りを定期的に行い、支援してまいります。	
	13	7		平日、学校休業日には児童の利用時間に変化がある為、対応できるように調整しています。都度、職員間で話し合い、その利用児童に合った課題を個々に進めています。	朝会等で共有し、職員同士話し合い、支援計画を基に課題を設定しております。	
	14	7		季節の製作等に取り組んでいます。	今後も工夫して検討していきたく思っております。	
	15	7		毎朝の会議にて打合せを行い、その日の流れを全職員が把握し支援できるよう努めています。	今後も打ち合わせや支援内容、役割分担についての確認や情報共有を行ってまいります。	
	16	7		毎朝の会議にて打合せを行い、その日の流れを全職員が把握し支援できるよう努めています。	今後も打ち合わせや支援内容、役割分担についての確認や情報共有を行ってまいります。	
	17	7		療育の内容や気づいた点など、利用児童の状況を経過記録に記録するとともに支援の検証と改善に努めております。	今後も日々の記録を行い、支援の検証、改善に繋げられるよう努めてまいります。	
	18	7		定期的に支援会議やモニタリングを実施し、保護者様の要望や児童の状況を把握し、支援計画の見直しを行っております。	今後も定期的なモニタリングと計画見直しを行ってまいります。	
	19	7		ガイドラインの各項目を盛り込み、具体的に支援内容を設定しています。また、個々の支援内容に沿って分かりやすく、具体的な支援内容を設定しております。	今後もガイドラインを踏まえ、支援の状況が適切であるかどうかを勘案し、利用児童や保護者様と向き合い、ご理解いただけるよう支援内容の設定に努めてまいります。	
関係機関や保護者様との連携	20	7		相談支援事業所があまり機能していないこともあり、児童発達支援管理責任者を中心に事業所内で話し合っております。	相談支援事業所を介さず、保護者様が立てられたセルフプランで来られる方が多いため、児童発達支援管理責任者中心に事業所内での話し合い、情報共有は徹底しております。	
	21	7		下校時間は保護者様経由でお手紙のコピーをいただき、適切に調整できております。急な変更については速やかに対応するよう心がけ、学校とは関係機関連携にて適宜話し合いの場を設けています。	今後も継続して、学校やご家庭と密に連絡を取り合い、送迎にずれが生じることがないように連絡調整に努めてまいります。	
	22	7		現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。	
	23	7		必要に応じてその都度個別に対応し、保護者様と交え、関係機関と情報共有を図ることができるよう努めます。	今後も関係機関と連携を図り、情報共有と相互理解を図ってまいります。	
	24	7		現在までに対象者はいませんでしたが、該当する児童が卒業する場合、移行した事業所に情報提供してまいります。	今後、卒業を迎える児童の保護者様からのご相談があった場合には、移行先、関係機関への情報提供に努め移行先での活動に役立てていただきたいと思います。	
	25	7		電話にて助言や相談等は行っております。	今後は電話だけでなく、出向いての研修や直接助言を求めると積極的に関わってまいります。	
	26	7		個人情報の観点などで実施できておりません。	保護者様にアンケート等を行い、検討していく課題であります。	
	27	7		協議会の相談支援センターより働きかけがなく、機会がありません。	事業所内での情報共有、提案、討議は徹底しております。	
	28	7		相談支援事業所があまり機能していないこともあり、児童発達支援管理責任者中心に事業所内で話し合っております。	今後も積極的に保護者様と情報共有を行い、共通理解に努めてまいります。	
	29	4	1	保護者様の悩みや状況に配慮しながら、その都度的確なアドバイスができるよう努めております。	今後も保護者様のニーズにこたえられるよう、寄り添った支援に努めてまいります。	
保護者様への説明責任等	30	7		見学時、契約時に行っております。	今後も分かりやすく、丁寧な説明に努めてまいります。	
	31	7		連絡帳や電話、送迎時などに保護者様からの相談を受けておりますが、その都度迅速丁寧な対応を心がけております。	今後も保護者様に寄り添いながら、適切な助言、支援ができるよう努めてまいります。	
	32	7		過去には開催しておりましたが、コロナ禍で難しい状態でした。	今後は保護者様の意向を反映し、開催も検討させていただきます。	
	33	7		契約時にもご説明しております苦情窓口が対応に努め、申し入れがあった際には内容に応じて適任者が迅速な対応を行っております。	今後も迅速な対応を心がけ、早期解決に取り組んでまいります。	
	34	7		季節ごとの COMPASS だよりや、毎月の事業所だよりを発行し、公式 Web サイトでは、最新情報のほか、事業所の活動が毎日ブログで紹介されております。	今後も情報発信を継続し、保護者様に利用児童の様子や活動を知っていただけるよう努めてまいります。	
	35	7		個人情報の取り扱い扱いは慎重に行い、書類は施錠できる場所に保管し、利用児童の写真掲載は書面にて保護者様の同意を得たうえで掲載しております。	今後も引き続き、個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払い、扱ってまいります。	
	36	7		児童の特性や保護者様の状況を把握し、口頭だけでなく、あらゆる手段を使用して意思疎通や情報伝達を行っております。	今後も利用児童の特性や、保護者様の状況を配慮して情報伝達に努めてまいります。	
	37	7		保護者様によっては来所を秘匿にされたい方もおられるので、実施は検討中です。	充分な配慮のもと開催できる形を模索し、検討を図ったのちに開催予定です。	
	非常時等の対応	38	7		各種マニュアルを策定し、見やすい場所に掲示しております。感染症対応については流行時期に合わせて、対応方法のシミュレーションをさまざまな状況や想定した訓練を実施しております。	今後も継続し、同様に行ってまいります。
		39	7		定期的に地震、火災等を想定した訓練を実施しております。	事業所内での訓練が中心となっておりますが、機会があれば屋外での訓練も実施してまいります。
40		7		毎年社内開催される研修に併し、内容を職員間で情報共有し、虐待防止マニュアルに沿って実施しております。	今後も継続的な研修によって、虐待についての知識を高め、全職員で意識の向上、認知の一致を図ってまいります。	
41		7		利用契約書では身体拘束の禁止に記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行わなければならない場合は保護者様の了解を得ております。	今後、身体拘束の可能性のある利用児童の受け入れについては体制を整え、十分な事前説明と保護者様の同意を得て、支援計画に記載し、ご理解を得られるよう努めてまいります。	
42		7		アセスメント時にアレルギー調査について話をさせていたが、全職員で調査を共有し、対応しております。	医師の診断書をいただくような重篤なアレルギーの利用児童の在籍はありませんが、今後も保護者様や職員と情報共有し細心の注意を払いながら、対応してまいります。	
43		7		ヒヤリハット報告書の作成、保管を行い、再発防止に努めております。	引き続き記録し、話し合いを継続し、再発防止に努めてまいります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。